



小川村章

小川村議会報
第204号

議会だより

発行 小川村議会

〒381-3302 長野県上水内郡
小川村 大字高府 8800 番地 8

TEL (026) 217-1246

FAX (026) 269-3578 (代)

Eメール: gikai@vill.logawa.nagano.jp

発行責任者 小林和人

議会報編集特別委員会

印刷 (株)西条印刷所

若者集合住宅

メゾン大久保 完成



令和5年3月定例会

令和5年度当初予算を可決……………2

小林和人議長全国町村議会議長会長
より表彰……………4

議案賛否一覧表……………4

一般質問 (質問順)

新井 幹夫議員……………5

鎌倉 一夫議員……………6

久田 茂男議員……………7

塚田 綾子議員……………8

大久保利廣議員……………9

西沢榮之助議員……………10

常任委員会活動報告 (閉会中の調査)

総務建経常任委員会……………11

社会文教常任委員会……………12

村民の声く村に思うこと……………13

議会の動き……………14

議長のつぶやき……………14

編集後記……………14

令和5年度当初予算を可決

一般会計総額 32億8,400万円 前年度当初比 17%増

令和5年3月定例会は、3月1日から17日までの17日間開かれ、専決処分承認1件、人事案2件、条例案4件、事件案3件、補正予算案3件、新年度予算案7件の合計20件の議案について審議し、原案通り可決した。

一般質問には6人が登壇し、村政について質した。

新年度予算の概要

令和5年度予算は、4年度予算が村長選挙を控えての骨格予算であったこと、新たに、星と緑のロマン館の風呂場の改修事業、公営住宅土地購入・造成費用、びつくらんど小川の体育館 非構造部材耐震化工事、昨年8月の集中豪雨による過年度分としての災害復旧工事を盛り込んだため、前年度比4億7,700万円の増額となっている。また、諸物価高騰により、各公共施設の電気料金や燃料費も前年度に比して増額している。

一般会計予算

総務費

ふるさと納税の増額を見込み、返礼品経費と基金積立金を増額。

秋に行われる村議会議員選挙の経費も盛り込まれた。

民生費

長野広域連合への施設管理費が増額している。

保育園では屋根の塗装工事を行う。

また、夏に園児が使うユニットプールが更新される。

衛生費

出産・子育て応援交付金事業を開始する。

長野市衛生センターへのし尿処理委託料が、処理単価の上昇により増額した。

農林水産業費

農地利用最適化活動の経費が新たに盛り込まれた。

令和5年度 一般会計・特別会計予算額

会計	令和5年度	令和4年度	増減	増減率	
一般会計	32億8,400万円	28億700万円	4億7,700万円	17.0%	
国民健康保険特別会計	事業勘定	3億981万円	3億1,840万円	△859万円	△2.7%
	直診勘定	1億845万円	1億519万円	326万円	3.1%
簡易水道事業特別会計	2億8,290万円	2億5,150万円	3,140万円	12.5%	
村営バス事業特別会計	3,594万円	3,600万円	△6万円	△0.2%	
下水道事業特別会計	2億22万円	2億6,903万円	△6,881万円	△25.6%	
介護保険特別会計	4億7,838万円	4億8,102万円	△264万円	△0.5%	
後期高齢者医療特別会計	4,360万円	4,263万円	97万円	2.3%	

商工費

ふるさと伝統館の指定管理委託料が新たに計上された。また、星と緑のロマン館浴室改修工事が行われる。

土木費

橋梁修繕工事費や道路

教育費

中学校音楽室等のエアクリーン更新、びつくらんど体育館の天井改修・空調設備更新を行う。

今年度も学校給食に郷土食「おやき」を計画している。

災害復旧費

現年災害は見込みで計上し、昨年8月の豪雨災害の一部は、県工事との調整により、過年度災害復旧工事とした。

討論 一般会計予算

反対討論

西沢哲朗議員

ロマン館の風呂場の改修費1億2,600万円が適切な額か。公営住宅の建設についてもまだ必要か、造成費等3,500万円は適切な額なのか。この二点に、村民の中からも疑問の声が上がっている。

風呂場の改修に反対をしているわけではないが、なぜこれだけの費用がかかるのか疑問に思っている。

消防費

ハザードマップの修正を行う。

ポンプ操法大会には、雲井分団と高府町分団が出場予定である。

方が多い。

また、公営住宅の建設についても鶴牧田及び大久保に建設したばかりだが、一体何戸造るのが目標なのか。村民の中にも「住宅建設はもう十分ではないか」という声が聞こえてくる。建設予定地や全体像を示さずに予算だけ認めてくれというのはあまりにも議会を軽く見ているとしか思えない。

村民から付託を受けている議会としては、村債を4億5,000万円発行したり、財政調整基金を1億円取り崩さなければ予算が組めない中で、今後公共施設の維持管理に多額の費用が見込まれる中、根拠が曖昧なままに予算を認めたり、村民が疑問を感じていることに蓋をすることは避けたいと考える。

賛成討論

鎌倉一夫議員

衛生費では小型のゴミ袋作成に予算が計上され、販売価格は300円とし、利用者はゴミの排出量に

応じて使い分けられ、減量化に繋がることを願う。

商工費ではロマン館の浴室改修工事が計上された。この施設は築30年が経過し、改修を重ね高齢者等にも利用しやすいよう利便性を高めている。

土木費は公営住宅地測量委託・造成工事費で3,500万円が計上された。

教育費ではびつくらんど体育館の耐震化工事に7,200万円等が盛り込まれた。照明のLED化工事も行われ、高騰を続けている電気料金抑制に期待する。

新井幹夫議員

2年目の染野村長が、住み続けたい村を目指す村づくりのために、一生懸命取り組んだ予算だと思ふ。

ロマン館の浴室改修については、平成2年の開業から小川村の観光施設の中心として運営され、平成7年に宿泊棟の増設を行ったが、風呂場は当初のままの状態である。

その時代に合った対応をしていくことが必要である。

商工費では道の駅の指定管理施設に300万円が計上され、新型コロナで落ち込んだ利用客を回復出来るよう管理料で応援をしていただきたい。

土木費では公営住宅の用地取得費・造成費が計上され、村に若者を定住させることにつながるものである。

衛生費でゴミ袋の小型化にも取り組み、村民の希望が実現をした。

久田茂男議員

歳入の半分以上が地方交付税である。

村税は4年度当初に比べて約780万円の増であるが、中でもタバコ税が前年度比144万円の増である。

歳出では災害復旧費が、前年比1億4,650万円の増であるが、昨年8月の災害を過年度災害復旧とするものであり、早期の復旧を望むものである。

耕地災害についても作付けに間に合うよう努力を是非お願いしたい。

星と緑のロマン館の風呂改修については、集客、観

光人口増による村内活性化に繋がればと思う。

大久保利廣議員

星と緑のロマン館の浴室の改修計画は長年の懸案事項であり、観光客の増や村内経済の活性化も望める事業で評価する。

土木費の公営住宅建設費の計上は、令和4年建設の公営住宅も申込者が多く、需要に応えられなかった状況を考えてと必要な事業である。

昨年8月の豪雨災害復旧工事関係では、過

年災害復旧費で2億6,600万が計上され、令和4年度発注分と合わせて10億近くになるが、発注元の村には業者の指導や調整等を強く要望する。

令和5年度は第6次振興計画の後期基本計画の策定年度であり、魅力ある村づくり、住み続けた小川村の指針となるべく計画の策定に期待したい。

西沢榮之助議員

本村の財政について、歳入は外部依存であることに変わりはないが、村税は前年比782万円の増である。

歳出では、衛生費の出産子育て支援は新たな取り組みである。

商工費のロマン館の浴室改修は以前から私も要望をしたことであり、改修には賛成である。

この工事の進行には、予算ありきの対応ではないことを私は強く強く要望する。

土木費では草刈り機のアタッチメント購入が盛り込まれ、住民の要望に十分応えられることと評価をする。

教育費のスポーツセンター体育館天井の耐震化工事は、多くの人が利用する施設であり、安心して使用できるよう早期の改修を望むところである。

最後に、理事者は反対討論者、賛成討論者の討論内容をよく精査し、予算執行することを強く願うものである。

討論 特別会計予算

小川村民健康保険 特別会計予算

賛成討論

新井幹夫議員

国民健康保険の一人当たりの医療費は、令和3年度末では県下で31番目以下がってきている。

保健センターを中心とした保健事業で病気の早期発見により治療が受けられ、医療費が抑えられるようお願いしたい。

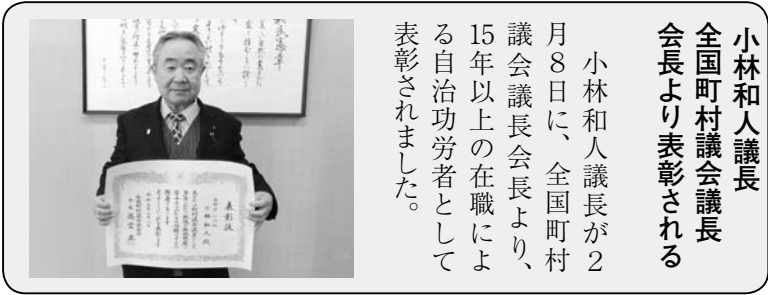
診療施設では、現在、9名の医師のローテーションにより診療が行われているが、引き続き常駐医師の確保に奮闘いただきたい。

小川村下水道事業 特別会計予算

賛成討論

鎌倉一夫議員

新たに合併浄化槽維持管理費に対する補助金210万円が計上された。合併浄化槽設置当初は



**小林和人議長
全国町村議会議長
会長より表彰される**

小林和人議長が2月8日に、全国町村議会議長会長より、15年以上の在職による自治功労者として表彰されました。

家族の人数も多いため水道の使用量も多く、下水道料金との差はなかったと思っている。
近年は家族数が激減し、水道料金は減っても維持管理費が安くなる事はない。
今回の合併浄化槽の設置世帯への補助金は下水道との差が少なくなり、公平感を感じることができ、設置者に大変ありがたい支援策と思う。

令和5年3月定例会 議員・議案ごと賛否一覧表

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 (議長は議決に参加しないため空白)

議案番号	議案の内容	審議結果	新井幹夫	西沢榮之助	伊藤幸光	久田茂男	大久保利廣	鎌倉一夫	大日方義次	西沢哲朗	塚田綾子	小林和人
4	令和4年度小川村一般会計補正予算(第10号)(専決処分事項)	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
5	小川村固定資産評価審査委員会委員の選任(塩沢 楠正敏さん 新任)	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
6	小川村教育委員会委員の任命(中尾団地 伊藤悦雄さん 新任)	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
7	小川村個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
8	小川村公文書公開・個人情報保護審査会条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
9	小川村さわやかふれあいスポーツセンター条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
10	小川村老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
11	長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
12	長野広域連合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
13	長野広域連合規約の変更に伴う財産処分の協議	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
14	令和4年度小川村一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
15	令和4年度小川村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
16	令和4年度小川村下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
17	令和5年度小川村一般会計予算	可決	○賛成討論	○賛成討論	○	○賛成討論	○賛成討論	○賛成討論	欠	×反対討論	○	
18	令和5年度小川村国民健康保険特別会計予算	可決	○賛成討論	○	○	○	○	○	欠	○	○	
19	令和5年度小川村簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
20	令和5年度小川村営バス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
21	令和5年度小川村下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○賛成討論	欠	○	○	
22	令和5年度小川村介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
23	令和5年度小川村後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
発議1号	小川村議会の個人情報の保護に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
発議2号	小川村議会の個人情報の保護に関する条例施行規程の制定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	

陳情	提出者	付託委員会	審議結果
陳情1号	「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情 長野地区労働組合総連合 議長 大矢 美奈子	総務建経 常任委員会	採択 (国へ意見書を提出)

一般質問
新井幹夫議員



公共施設の防犯対策は

村長 防犯カメラと通報システムを 設置している

問 通告に基づき、3点の質問をお願いしたい。

これらの質問から、この村に住んでいて良かったと思うような村づくりの施策を展開してもらいたいと思う。

村長さんからは前向きなご答弁をお願いしたい。

一点目は、村内の公共施設の防犯対策について、全国14都道府県では窃盗団が出没し、また殺人を犯すなど新聞、テレビなどで報道されている。小川村においては大丈夫かと心配になる。

過去に、村内でも盗難事件があることを知った。村の公共施設の管理状況、防犯対策はどうなっているのか、現状を伺いたい。

村長 公共施設での防犯体制について、毎日のテレビ報道を見ると防犯カメラの映像を見ない日がないくらい防犯カメラの設置が進んでいる。

また、警察庁の情報から刑法犯の件数は減少傾向だと報告されている。

これは、防犯カメラの設置が進んだからだと聞かれている。

村内の防犯カメラの設置状況は、小学校1台、道の駅・味菜2台、さんさん市場4台、バスティー1高府2台、ロマン館2台を設置している。

この他に、小学校、中学校、びつくらんど、ふるさとらんど、診療所には通報システムを導入している。

要望 意外と多くの場所に防犯カメラ等が設置されており、とりあえず安心した。しかし保健センター等への設置がされていないのはとても心配である。盗難や施設の破損を防ぐ為に対策をして貰いたいと思う。

担当課長には、施設点検をお願いしたい。

指定管理施設の 経営状況の把握 について

問 新型コロナウイルスの感染拡大と外出制限によって、大変厳しい経営状況が続いていると承知している。

さらに、昨今の光熱水費の値上がり等により経営環境は厳しさを増している。

指定管理者を選定してしまえば、管理を任せただから安心では駄目である。

定期的な経営内容の調査をしているのかを伺いたい。

村長 指定管理施設あるいは指定管理者と委託後、どのように協議がされているのかとのことであるが、コロナ感染症の影響が大変大きく、経営が厳しいことは承知している。

毎年度の終わりに経営状況がどうか、売上状況、相応の利益が出ているのかを、資料の提出

していただき経営状況の確認をしている。

その後、年度協定を結ばせて頂いている。

その過程で味菜さんの経営が、コロナの影響で利益が出ていないことから、指定管理料を新年度予算に計上したものである。

要望 今後も指定管理施設を盛り立てて貰いたいと思う。

小根山地区での 節水要請と対策 対応について

足りない状況になってしまった。
塩沢・立屋地区からの源水は、地元水道組合との共有水源でありますので、地元水道組合の皆様から協力をいただいて村の水道への増量をお願いし、源水の確保ができた状況である。

年末で使用量が増加したことも一因だとは思いますが、源水が湧水であることから今後どのようなふうにならない。

今後地元水道組合と協議を行いながら源水の確保に取り組むたいと考えている。

要望 状況は理解した。これからも地元の水道組合との協議を丁寧に進めていってほしいと思う。

水道は、大切なライフラインだからである。村民からの要望は多岐に渡る。積極的に状況を把握していただき、住民からの協力をいただき村政運営をお願いしたい。

村長 年末の節水要請についてですが、12月28日頃から浄水場の水位が下がり始めて、年末31日には配水量に対し源水が

一般質問

鎌倉一夫議員



ごみ減量化への取組みは 村長 小型ごみ袋で対応する

問 昨年12月に開催された「ごみ減量化推進委員会」での協議内容を伺いたい。

村長 先的一般質問で指定ごみ袋の小型化への提案があり検討をした結果、高齢者をはじめ利用者にとって小袋もあつた方が利便性も良く、選択肢が増えるとの意見から、新年度から小サイズのごみ袋を導入することとした。

ごみ袋への記名については、プライバシーを懸念するとの意見から、今迄と同様に各地域での取組みにお願いしたい。

問 小型ごみ袋の販売価格を伺いたい。

住民福祉課長 大きい袋については現行の4000円で販売し、小型袋は300円とし3000円での販売を予定している。

問 可燃ごみの減量化は、生ごみをなるべく少なくすることが必要と考える。

そこで生ごみ処理機の普及状況を伺いたい。

住民福祉課長 生ごみ処理機購入補助内容は、購入額の半額を補助し、コンポストは5千円、生ごみ処理機は3万円を上限で実施している。本年度はコンポスト容器6件、生ごみ処理機3件で9万円程の実績である。

資源ごみ搬出者に支援を

問 プラスチック容器等を分類し、資源ごみとして排出すれば当然に可燃ごみの減量化に繋がる。

しかし、プラスチック容器やトレイ等は非常に軽いが、かさばる物である。その為、ごみ袋も多く使うため経費もかかる。

袋に記名をして排出した人にはごみ袋を無償提供してはどうか。

村長 プラスチック製容器の収集量は近年7%の

増となっている。感謝の気持ちや袋への記名も含め広く村民に周知していく。

問 清掃事業における住民全体への広報、勉強会開催と循環型社会への啓発を求める要望書が村民有志から提出されている。

今後、どのように進めていくのか伺いたい。

住民福祉課長 広報に定期的に啓発的な記事を掲載していく。

以前から減量化に向けて進めてきた視察研修、勉強会等を今後も継続する。村民に対しても勉強会をして頂ける機会を作りたい。

問 ごみ減量化には村民全体の協力が必要だ。

各地域に仮称だが環境衛生委員を設けて取り組むべきと考える。

村長 ごみカレンダーの配布や講座開催等の連絡は組長さんをお願いし対応していく。地区役員を

選出しても減量化には直接結びつかないと考える。

災害復旧の見通しは

問 昨年8月6日に発生した豪雨災害への対応が遅れている。

特に耕地災害への復旧には個人負担が発生しないよう取り計らっていたのだが、春の作付けに間に合うのか心配の声が聞こえてくる。対応を伺いたい。

村長 耕地災害箇所は村単独も合わせ、すべて発注済みである。

作付けには影響のないよう業者にはお願いしている。

ロマン館 風呂改修

問 新年度予算にロマン館の風呂場の改修が計上されている。

これから始まる春の観

光シーズン、夏の合宿も控えている。

早めの取組みが必要だが、着工はいつ頃か伺いたい。

村長 休館することは極力避けながら、年明けのお客が少なくなった1月2月頃を予定している。

土地開発公社で宅地分譲地を

問 公営住宅の建設用地測量委託費が予算化されているが、土地を購入して住宅建設を希望する人も少なくはない。

土地開発公社での分譲地確保の予定を伺いたい。

村長 現在、手持ちの区画は無い状況である。

土地開発公社の理事会在近日中に開催予定であり、分譲地については3区画ぐらいを提案させて頂きたいと考えている。

一般質問
久田茂男議員



小川村国土強靱化地域計画は 村長 事前防災・減災と迅速な復興に資する

問 小川村国土強靱化地域計画について、昨年の8月6日から7日にかけての豪雨災害の発生後見直しをされたのか。

生活必需品の備蓄関係、交通インフラに関する関係、村道の土砂災害防止策について伺う。

村長 国の国土強靱化基本法に基づき令和3年3月に小川村国土強靱化地域計画を策定し、食料品、物資の保存・在庫量等を定めている。

村の人口の5%で、2食分を確保し、関係業者からの調達は住民への円滑な供給体制など強化を図ることとしている。また、災害時の仮設トイレなど備蓄整備が伴っていない状況もあり今後さらに強化を図っていく必要がある。

災害時の生活必需品の確保は住民自ら行うことが最も有効で、住民の防災意識を高め、最低限の必需品は準備して普及啓発にも努めたい。

問 近隣市町村の応援体制や、民間との協定関係について年々状況が変わると思うが対応は。

村長 国土強靱化地域計画はまだ出来上がって2年であるが、防災計画等は5年に1回見直すため、当然、今後強靱化計画の見直しも必要になる。

交通インフラ・土砂災害の減災対策は

問 交通インフラと村道の土砂災害の予防対策について、前回、土尻川砂防事務所が行う菰畑の島田沢、薬師沢、味大豆の滑りの対策、表立屋、法地、花尾、神楽岡。また、急傾斜地対策で夏和の大明神、成就の花見平とのことであったが、その後の状況はいかがか。

村長 村道の土砂災害予防対策ですが、村道を改良するという意味合いで、県



代行事業の村道16号線が実施中。村道3号線富吉地区の道路改良の新年度実施。その他橋梁の補修について28橋の補修が完了。現在中尾の宝泉橋、稲荷の小川橋の修繕工事も実施計画となっている。

地すべり対策事業は表立屋の法面工、法地の集水工、神楽岡のボーリング工。砂防事業で、薬師沢の調査測量設計、島田沢も用地測量に取り掛かっている。

交通安全施設事業で鶴牧田団地から大久保間の県道への歩道設置。

急傾斜地崩落対策で夏

和の大明神西と成就の花見平の法面工が調査設計で既に発注済である。

河床低下と二次災害防止対策は

問 小川川、瀬戸川、澤入沢、薬師沢、栗尾沢、島田沢、久木沢と七つの川が土尻川に注いでいる。今回の災害の中でもかなりダメージを受け災害復旧工事に着手されている。

小川川の芋の沢集落の河床が下がる、上流は河床が上がって、どここの河

川も不要倒木が流れてせき止められ、二次災害の発生も懸念される。

集落のある場所の優先的な計画の有無を伺いたい。

村長 河川における関係支障木伐採は、極力早い段階で手をつけ進めたい。河床の土尻川沿線については県にお願いして発注済であり、浚渫工事で動いている。

芋の沢地籍の関係は具体的には取り掛かっていないので、早急に対応したい。

村民の声をどう聞いていくのか

村長 地区懇談会のみならず自主団体にも 出向いて聞く



一般質問
塚田綾子議員

学校給食費の 保護者負担につ いて

問 給食の食費は誰が負担すべきなのか、全国で様々な考えから、様々な対応がとられている。

保護者からは、医療費、教材費の無償化に続き子育て支援の一環として給食費の保護者負担ゼロは期待されるのも、事実である。

物価の上昇により影響を受けるのは、家計だけでなく、給食運営側にも言える事であり、やむを得ず値上げを発表した自治体もある。本村の考えはいかがか？

村長 学校給食は保護者負担が原則であり、教育の一環として学校給食が提供されることは考えられない。

また、コロナ感染症地方創生臨時交付金を使って保護者負担をゼロにした先行事例もあるが、本

村は、この交付金は、以前から費用の面で提供できずにいた郷土食給食おやきの提供に利用した。おやき給食は、交付金のない令和5年度は公費負担で実施する。

教育長 憲法の「義務教育無償の規定」は授業料、教科書で、その他教育に必要な一切の費用まで無償にしなければならないとは言っていない。

長野県内では小さな町村が公費負担をしているところがある。首長の選挙公約だとかそういうものでやっている所が多いのではないか。

今後は、物価高対策の資金面で村に頼るかもしれないことや、現支援に加えて、多子世帯への支援についての議論はあってもよいと思っている。

問 食材の地産地消の現状と今後について伺う。

教育長 地産地消を心がけ、郷土食を提供してい

る。さんさん市場で間に合うものは出来る限りお願いをしている状態だが、間に合わない野菜の方が多いの現状である。

米、牛乳は全て県産、パン、ソフト麺の小麦粉は国内産を使用。安全で安心の食材を用意するのが一番であって、その上での地産地消である。

マスク着用の 被害について

問 子どもがマスクを着用することで心配される身体と心への影響についての考えを伺う。

教育長 3年にわたるコロナ対応で子どもに影響が無いとは言えない。

保護者からは心配の声が聞かれたが、そのような心配される事案の報告は受けてない。

マイナズ面をプラスに捉えよう対応してきた。

何のために着用しなければいけないのか、自他尊重の心を大切にする旨の教えを伝えた。

行事では本質を大切にしていること、また、個人で判断する力や、お互いに信頼し大切にしてい

懇談会について

問 現時点での村民の声を集め方を伺う。

村長 行政懇談会が最も有効な機会だと捉えている。

これまでは隔年での開催だったが、新型コロナウイルス感染拡大対策で行政主催では行っていない。

2022年は地区からの要望で3地区に出向いて懇談会を実施した。

問 その他の声の集め方はどのようなものがあるか伺う。

村長 全体では無く、例えばごみ減量推進委員や、移住・定住のおやき研究所など、一つ一つの項目に分けて行う会などを、村民の皆様の声を聞く機会として実施してきた。

また今後、地区懇談会は積極的に実施したいと区長組長会で伝える。

問 各会や各委員会の連携が弱く「私たちはどこに向かっているのだろう」という疑問の声もある。

基本構想計画よりも具体的な未来像を作るために、より多様な村民の声を集めへの対応はどのように考えるか。

村長 地区懇談会のみならず、自主団体へ出向く事も視野に入れている。

一般質問
大久保利廣議員



堆肥センターの活用について

問 堆肥センター運営は、本村の農業生産に重要な事業であり、今後も継続すべき事業と考えるが方針を伺いたい。

村長 現在、畜産農家1軒と養鶏場1事業所が搬入しているが、令和6年以降、鶏糞は自己処理に切り替えるため、新年度畜産農家と協議・検討し、今後の方向付けをしていく。

要望 地域循環型農業に取り組んでいる本村にとって、堆肥の安定供給が不可欠であり、継続運営ができるよう、前向きに検討されたい。

ひまわりの振興作物化について

問 栄養や成分が豊富で、食用や美容など幅広い活用ができ、様々な商品開発も望め、播種・刈

り取り・乾燥等の作業は機械化ができ、省力栽培可能なひまわりを雑穀の振興作物と位置付けて取り組み、ひまわりの里を目指してはどうか。

村長 昨年より農林公社みらいで試作を始めたが、搾油はできなかった。今年も作付けし、1年かけて作物としての魅力や作業時期等を精査し、有効性が確認できれば振興作物として取り組む。

景観整備による全伐の推進

問 本村の観光スポット、アルプスライン沿いは見通しの悪い場所が多いので、主伐を実施し、景観や眺めの解消を図ってはどうか。

村長 主伐だけでは森林環境譲与税活用事業の本来的目的外であり、実施は考えていないが、間伐などの森林整備や地区要望による支障木の伐採は引き続き実施していく。

農林公社の林業事業への拡大について

問 面積の7割が山林の本村にとって、林業振興は課題であり村民の公社みらいへの期待も大きい。林業の作業技術や木材の目利きも向上してきたので、市場流通参入や需要者への直接販売など、事業を拡大し林業の活性化を図ってはいかがか。

副村長 林業は他と比べ危険度が高く、大規模な森林整備には設備・人材・技術等現在の体制では力不足であり、当面は職員の技術向上や安全教育の充実に努め、事業の拡大はせず、安全を最優先に現状の事業を継続する。

要望 林業は木材生産だけでなく、様々な事業展開や雇用の創出も可能であり、前向きに検討されたい。

宅地分譲地は

問 宅地分譲地は1区画も無く、需要者の要望に応えられない状況が続いている。

移住者への妨げや若者の村外への流出にもつながるので、早急に宅地を確保し、造成すべきと思うがいかがか。

村長 宅地分譲は、人口減少や若者定住対策に必要な事業であり、土地開発公社で検討し、新年度中に分譲地造成に向けて進める。

空き家改修補助金の増額を

問 空き家改修補助金は令和5年度から見直され、補助率は事業費の2/3に引き上げられたが、限度額は据え置きである。

材料費が高騰し工事費も上がっているため、限度額を引き上げ、購入者の経費軽減と、空き家購

入の促進を図ってはどうか。

村長 制度の内容は近隣市町村と比べても同程度であり、当面は上限額の増額は考えていないが、空き家対策協議会委員の協力を得ながら、空き家バンクへの登録を増やす取り組みに力を入れたい。

防犯対策について

問 防犯指導員は地区内の状況を熟知された方が、村から委嘱され活動している。

犯罪の多様化・高齢者世帯等が増え続けている中、活動に見合った報酬を支払い、人材の有効活用を図ってはいかがか。

村長 現在、各分団に1名委嘱し、6名が無報酬で自主的に防犯活動や地域安全活動の推進などに取り組んでいただいている。

有償での活動については、委員会等を通じて検討する。

一般質問
西沢榮之助議員



堆肥センター維持どうなる

村長 長野県養鶏・鶏糞を自社処理に



鶏糞の自社処理予定の長野県養鶏

問 肥料等の価格も値上がりし、農家にとっては大きな打撃である。堆肥センターの堆肥は評判も良く、農家にとっては頼りになり必要なものである。

村長 平成11年に開始以来23年になる。現在堆肥を持ち込んでいるのは、畜産農家1軒と長野県養鶏1軒である。令和6年度より長野県養鶏は、自社で処理をする予定であり、堆肥セン

ターには持ち込まないようになる。畜産農家とは具体的な検討に入るが、堆肥については現在のようにはいかなないと思う。牛糞堆肥と鶏糞堆肥になるのではとされている。農業振興からも、堆肥の有効活用は大切である。

問 臭気対策については、以前から問題になっているが対策を伺う。

村長 事業発足以来臭気が大きな問題になっている。

鶏糞搬入は養鶏場で第一処理をして搬入、またバイオ溶液を混ぜるなどの工夫や、長野県養鶏では臭いの少ない餌を与える等の対策をしてきたが臭いは消えない状況である。

公社みらいの充実を

問 公社みらいは、農家にとっては必要不可欠な

組織である。また振興作物の奨励などの活動は評価する。組織も大きくなったが今後の計画について伺う。

副村長 公社の収入の半分以上が村からの補助金で賄っている。補助金なしで経営が成り立つとは思っていない。

組織の確立には、収入の確保が大事になるが、補助金がないと難しい。増収には農家の負担にもつながり検討が必要になる。

村民の健康管理

問 国保会計で、一人当たり医療費が、常に高い方から5番以内であったが令和3年度は31番目になった。関係者の活動の成果と思うが原因を伺う。

村長 要因については、人口の少ない村では高額医療の方が、1人2人い

るかないか、大きく変動する。村の取組みは、ヘルスクリーニング・人間ドック・健康診査を受け

た人の中から特定保健指導の対象者・将来重度の疾病の発症の確率の高い人の指導を、保健師や管理栄養士が個別面談を随時行い指導している。

住民福祉課長

保健師・栄養士は、生活習慣病の人の指導や健康教室・

出前講座など保健指導員さんと実施している。

おがわ未来塾の成果は

問 6月より学習指導が始まり、塾生も3名から8名になった。これまでの成果について伺う。



管理栄養士による健康教室

教育長 教科書、問題集に取り進む姿勢、伸ばしたい科目が得意になってきたとの声も聞かれた。中学生は目標を決めて参加し、達成できたとの声もあった。

来年度の意向調査では、15名の参加が見込まれる。中条地域の児童にも声掛けをした。

委員会報告

総務建経常任委員会

閉会中の委員会活動

令和5年1月23日、委員全員と職務出席の議長、委員外議員5名及び各担当課長、職員が出席し、管内視察と所管事務調査を行った。

《管内視察》

メゾン大久保、アルペンドーム、災害備蓄品備蓄状況の視察を実施した。

メゾン大久保建築現場進捗状況

工事は順調に進んでおり、工期である2月末日に向けて最終的な仕上げの作業を行っていた。3月上旬に入居者の募集を予定しているとの説明であった。

アルペンドーム

この施設の利用・活用状況は、ロマン館での夏場の学生等の合宿で、雨等によりグラウンドが使えない時の利用が多いほか、選挙の際の投票所として利用しているが、それ以外は使用されていない状況なので、今後有効な活用を検討していくとのことであった。

災害備蓄品備蓄状況

役場庁舎地下倉庫に非常用食料品等の災害備蓄品が保管されているが、備蓄品の中に、簡易トイレが無いので、多少の備蓄は必要ではないかとの質問に、用意を検討することであった。

《所管事務調査》

〔総務課関係〕

5年度予算編成

令和5年度予算については、査定も終わり係数調整を行っている。一般会計で32億円ほどであり、例年比5億円ほどの増との説明であった。

〔建設経済課関係〕

災害査定について

公共土木、林道災害は昨年中に査定が済み、水道施設も含めすべての災害査定が終了した。入札の状況は、公共土木58か所中1月末までに24か所が済み、残りは今後行われる。耕地災害は40か所中1月末で38か所入札が済んでいる。林道災害13か所は本日入札が行われた。水道災害は今後実施設計を組み直して入札に向けていくとの説明であった。

ロマン館Wi-Fi設置工事

半導体不足等により令和3年度の繰越事業で行っていたが、1月に竣工したとの説明であった。このことにより、館内で宿泊者等が利用できるようになった。

災害復旧について

工事が行われることにより、同じ路線のあらゆる場所で行止めにしない様にしていく。工期を5年11月としているところもあるが、そこまできからない現場もある。調整しながら進めていきたいとの説明があった。

耕地災害について

水路は優先して復旧を行うように、作付けに間に合うようにするとの説明であった。

ワーキングホリデー

今回の募集に、2名の応募があり、学生の為日程を変更して、2月27日～3月4日に行く。男性1名が京都市から参加する。また、3月15日～22日に2回目を行い、女性1名が神戸から参加する。どちらも小川の庄で働いていただくとの説明であった。

地域おこし協力隊

現在4名が活動している。新年度に向けて、農林公社及び道の駅活性化で働いていただける方を募集したが、応募は無い状況である。今後業務を検討して、再度募集していくとのことである。

村道16号線改良

県代行で工事が行われるべく、先ごろ1月22日に3回目の説明会があった。地元要望により道路幅員を6mとすることである。

令和5年度より用地買収がされ、大久保橋周辺より改良を行っていくとのことである。

県道信濃信州新線大久保・鶴牧田間について

歩道改良については、県道改良工事として行う。



耕地災害（日本記）

委員会報告

社会文教常任委員会

閉会中の委員会活動

2月2日、委員5名のほか議長、委員外出席3名、担当職員の出席のもと、新型ウイルスまん延防止のために村内での現地視察と、所管事務調査を行った。

管内視察

びつくらんど小川

体育館の吊り天井の耐震化工事がいよいよ計画の実施になる。天井の素材の軽量化工事に足場を組みむのに合わせて、照明のLED化も実施予定である。利用の少ない閑散期に予定している。施設内全てではないので予算的に可能であれば事務所等も交換したいなどが報告された。

照明を水銀灯からLED

た。現在は送油管を1系統ずつ修繕しながら運営しているとの事である。

所管事務調査

住民福祉課関係

Dに変わると電気代が7割安くなるなどの試算が出ているだけでなく、寿命が長く、炭素排出量も少ないというメリットがある。

火葬場

令和2年に待合室の小上がりを撤去しバリアフリーのフロアリングにし、広く感じられた。

水場の蛇口の非接触化、照明のLED化を実施し



火葬場待合室

広域連合・最終処分場関連

1月28日、広域連合における現地調査後の梶尾地域への説明会が行われた。

ここでの意見は2月24日の専門委員会に伝達され、6ヶ所の候補地のうちから2つに絞り込まれ、飯綱町と長野市中条の2つの候補地で詳しい調査を進めていくこととなる。

新型インフルエンザ関連

11月・12月に集団接種を行い、75・9%の村民が接種を行っている。また、5類に移行決定の予定があることについての説明があった。5月

中条中学校閉校について

8日から5類に移行しても、医療費は負担が大幅に増えないように、期限付き等の条件でワクチンも自己負担なく接種できるように考えている、との事である。

マイナンバーカード

カードの申請状況は、52・5%の申請、交付は46・1%。(12月末時点)

教育委員会関係

奄美・住用との交流について

25年続いているこの交流事業は、コロナ禍によりオンライン形式での3年間の交流を経て令和5度も計画されている。

「小川との交流」を条件に残された奄美市との合併で、奄美全体とどのように対応したらいいか、教育委員会で行う意味等、今後も議論の必要がある。令和6年には結論を出す。

豪雨被害を受けた石張り水路工

先ごろ毀損による現状変更届が土尻川砂防事務所より出され、県に進達している。

社会教育について

熟年大学・文化協会活動・おがわ未来塾など年度末で区切りとなるが、新型コロナの感染状況を計みて、様々な行事を計画していきたいとの事であった。



びつくらんどアリーナ

公民館図書室

蔵書は19,000冊程あり、昨年度の貸し出しは3,431冊、延べ1,096人の利用があった。

学びの改革パイオニア校構築支援事業

令和5・6年の2年間の取り組みで、GIGAスクール構想のもと、さらにICTを活用した学びと学習のあり方を近隣中学と連携し、実践を深めたいとの事。

村民の声

～村に思うこと～

ネット環境の充実

小根山町区 匿名希望

なる。

③ 自分の好きなことや興味の

ある事を学ぶことができ、社
会参加の機会が増える。

④ スマホやパソコンを使える

ようになることで、生活にお
いて便利な機能を活用するこ
とができる。

⑤ 高齢者が孤独感やストレス

を感じて軽減すること
ができる。

次に、ネット環境を充実させ

る方法について、高齢者である
私を感じていることを述べさせ
ていただきます。

高齢者には、パソコンやスマ
ホ等の操作が苦手な方が多いた
め、遊び感覚で使い方を丁寧
に指導していただける教室の開催
が必要です。

また、高齢者がITのトラ
ブルに遭遇した場合、安心して
相談できる環境を整えておく必
要があります。更に高齢者向け

のセミナーの開催・SNSや

メールの普及・スマホやタブレ
ットの利用の普及化これらの方
法を取り入れることで、小川村

のネット環境が充実し、高齢者
にとっても利用しやすい状況が
整い、地域全体がIT化され、
情報交換・情報発信を促進し、

地域の活性化につながることに
期待できると考えます。

私の思うこと

瀬戸川区 匿名希望

や地域色が濃厚に表れる人選び
に変化してきている。

その現象をとにかく言えるも

のではないが、それ以前に手を
挙げる人がいない。押し出すだ
けの適任者が無い。あるいは余
計な摩擦を起こしたくないとい
うのが主な理由と、マスコミ関
係者の声である。

では、わが村全体の意識はど
うだろうか。

いかが思いますか。

【そんなことはあり得ない】
という力強い大きな声に期待し
たい。

平成の大合併以来、財政から
始まり幾多の課題にぶち当たり
ながらも、理事者・議会・村民
が一体となり、見事に乗り切っ
て今日があることに感謝し、自
信としたいところではないだろ
うか。

そして、これを堅持していく
のが村民のパワーであり、目先
の秋に焦点を当てるべきである

う。

年々減少していく人口の流れ
から、地域括りの難しさ、困難
さは誰でも感じている。

枠を取り外し、オール小川で
の戦いを選択する事を切望した
い。

いずれにしても、他人事でな
く、無関心でなく、個人個人が
村政・議会に関心を持つことが
大切なことと言うまでもない。

県議選では、11選挙区で17人
が無投票当選という結果を目に
し、すかさず今秋にある最も私
達の身近で関心度が高い戦いに
思いがはせる。

当然のこと、時代と言うか有

権者の意識の高揚により、名譽

職または一族的な固い安定意識

からの脱却が進み、個人の人格

議会の動き

15	13	10	9	7	6	2	1	3月	25	22	17	15	10	9	8	6	2月
中学校卒業式 議会全員協議会	議会全員協議会 本会議 質疑	社会文教常任委員会 本会議	総務建経常任委員会 本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 議案説明 本会議 議案説明	議会全員協議会 本会議 議案説明	3月定例会招集	おがわ未来塾閉講式 築く審議会	長野県町村議会議長 会第36回総会	議会運営委員会	さんさん市場総会 包括医療協議会	例議会	長野広域連合2月定 例議会	総務建経常任委員会	国保運営協議会	消防委員会
		28	26	24	22	18	13	10	6	4	29	28	23	22	17	16	
		養慰霊式典	全員協議会	議会報編集特別委員 会	小川村消防団出初式	信濃町正副議長来村 議会報編集特別委員 会	信濃町正副議長来村 議会報編集特別委員 会	中学校入学式 議会運営委員会	小学校入学式	保育園入園式	土地開発公社理事会	小川シニアクラブ総 会	社会福祉協議会理事 会・評議員会	農林公社臨時評議員 会	議会報編集特別委員 会	本会議 討論・採決	小学校卒業式

3月定例会議会が終わりました。令和5年度の当初予算が可決致しました。今年度の年間施策予定の大筋が示され、見えてきました。この議会報や村の広報を参考にしてください。

政策の中での実現させる施策として、提出されています。

昨年の災害復旧や公共施設の耐震化対応、上水道の老朽化と濁り対策も必然性施策ですが、人口や少子化対策としての公営住宅用地取得予算。観光、厚生福祉や経年劣化、施設規模拡大による対応としてのロマン館浴室改修工事が、新たな施策として多くの歳費をかけて打ち出されています。

議長のつぶやき

議長 小林和人

議会が活性化します。

議員は10人いますが、それぞれがそれぞれに多様な考え方がありま
す。勿論、住民の声を反映させての
議案審査と検討でもあります。

この事により、行政側もより慎重に、
十分に検討しながらの執行になると
思います。首長からもそんな言葉も
ありました。是非、中身をさらに
精査をして、住民益になる様、
期待をしたいと思います。

一方、ごみ袋対応や、合併
浄化槽使用者の下水道使用
料との格差の是正化、スクー
ルバスの交通弱者対応等々の
住民の意向に沿った施策もあ
りました。小川村だからこそ
の対応と感ずる所でもあります。

環境整備や生活不安対応等々、
課題は尽きません。維持継続施策
においても年々経費がかさむ現状下
です。

一歩ずつでも前に向かって、皆様
と共に進んでいきたいと思っていま
す。今後も宜しくお願い致します。

今回のように住民の声の代弁者
として、或いは自身の議員としての
考え方が議論の中で明確化して、
より自身の濃い理解と検討がなされ
る事になると改めて思います。

編集後記

原材料の高騰や円安等
の影響で、あらゆる商品
やサービスが値上がりし、
家計を直撃している。

消費者物価指数は4%
を超え、第2次石油危機
以来約40年ぶりの伸び率
であり、この1年で家庭の
生活費は10%近く上昇し
たとも言われている。

政府による物価高騰対
策に期待したい。

明るいニュースもあつ
た。第5回のWBCで「侍
ジャパン」は全勝で3度目
の優勝を果たした。栗山
監督の名采配と、長野県
出身の牧選手を含む全選
手のプレーは感動と元氣
をもらい、スポーツの魅力
を十二分に堪能できた。

彼らの活躍が野球人気
復活の契機になってほし
い。

(大久保利廣)

- 議会報編集特別委員会
委員長 久田 茂男
副委員長 大久保利廣
委員 新井 幹夫
西沢榮之助
鎌倉 一夫